

学校運営協議会だより

文責 CSコーディネーター中村

新しい学習指導要領において掲げられた理念の一つに「開かれた学校」があります。この理念は、学校教育を社会と連携・協働することで、子ども達がより良い社会を創ることを目指しています。ここで京極町立学校の「開かれた学校づくり」の取組の一例を紹介します。

小学校編 幼稚園・保育園との連携



5月13日(月)小学校1年生体育(小林先生・本田先生)の授業を、保育園2名の先生、委員会より2名参観させていただきました。その後、担任の小林先生から小学校入学後の児童の様子をお話いただきました。参観者からは、次のような授業参観の感想がありました。

■保育園の先生から一言

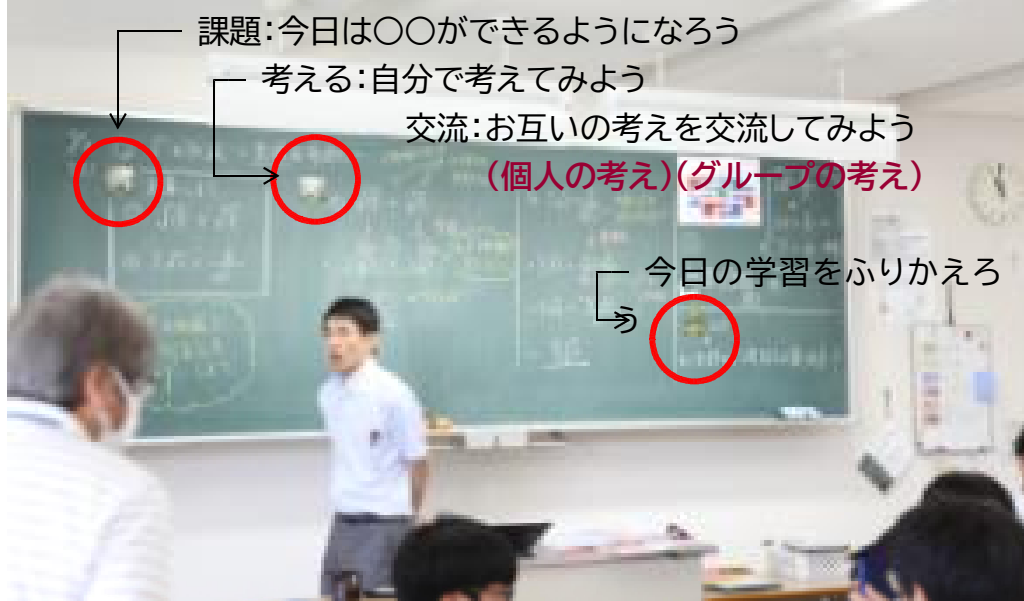
- ・こどもたちが先生のお話をきちんと聞いている姿をみて、とても成長を感じました。
- ・支援員の方と連携しながら個性豊かなこどもたちに、子どもたち一人ひとりに対し個別に必要な支援をきめ細かくされていると感じました。

■委員会職員から一言

- ・体育の授業の中で、先生が「できる人は、できない人を助けてね。」と呼びかけ、できない人をおいていくことなく、みんなで学ぶぬくもりのある授業だと感じました。
- ・先生が、「かっこいいね」と常にこどもの良いところを評価する声かけをしていました。

今後も、幼保(幼稚園・保育園)と小学校との連携は、教育委員会牧野指導主事のリーダーシップのもと継続して進めていきます。

中学校編 家庭・地域との連携



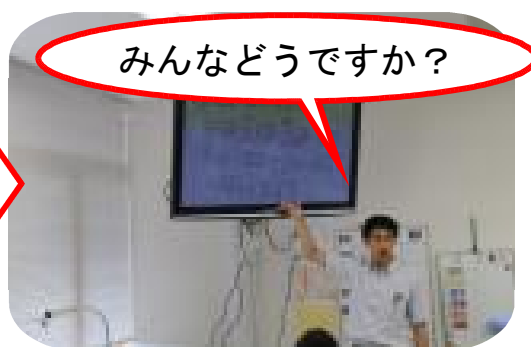
3年生数学の授業です。課題解決型の授業に取り組まれており、生徒が主役の「わかる・できる」授業でした。課題解決型の授業は、課題→考察→交流→まとめ→ふりかえりの場面を設定した授業です。黒板には、それを示すカードが掲示されています。

7月1日から5日まで、中学校は「学校参観週間」を設定し、朝の会、給食、昼休み、部活動そして授業の様子を保護者の皆様に公開しました。保護者の皆様にとって、授業以外の子ども様を知ることができ、また都合の良い時間に参観できる「学校参観週間」は、とても良い取組だと思いました。

1人1台タブレット端末を活用した授業



交流



数学の授業におけるタブレット端末の活用例です。生徒が自己のタブレットで問題に挑戦します。その画面を大型モニターで全員で確認しています。タブレット端末を有効活用することにより、生徒が自分のペースで(個別最適な)学びができるよう、また、みんなで学び合うこと(こどもが主役の授業)をねらいとした(課題解決型の)授業に取り組んでいます。

お知らせ

ICT支援員を募集しています。

小学校・中学校の全児童・生徒に、PC端末が支給されており、授業等で活用されていることから、町では学校ICT支援員を配置しています。

現在、令和6年度会計年度任用職員として募集していますので希望者は関係書類を教育委員会まで提出して下さい。



GIGAスクール構想については、今後の「学校運営協議会だより」でお伝えします。

